

提出日： 2026 年 6 月 18 日

研究促進期間制度 研究実績報告書

所属学部・研究科	身分	氏名
理工学術院	准教授	木戸 繭子

研究期間	以下1～4より、取得した研究機関を選択し、該当番号を右欄にご記入ください。	
	1. 2025年4月 1日 ～ 2026年3月31日	1
	2. 2025年9月 1日 ～ 2026年8月31日	
	3. 2025年4月 1日 ～ 2025年9月20日	
	4. 2025年9月21日 ～ 2026年3月31日	
活動報告	研究期間中に実施した研究活動を具体的にご記入ください。 海外活動補助費を受給した方は、海外活動の内容が分かるようにご記入ください。	
	研究促進期間中は主にドイツ・ベルリンに滞在し、ドイツ語圏文学及びジェンダー・セクシュアリティ研究／クィア・リーディングに関する文献調査、資料収集、論文執筆を行った。受入研究者であるベルリン・フンボルト大学の Andreas Kraß 教授と意見交換を行うとともに、同教授の研究チームが主催するクィア・リーディングのコロキウムに参加した。また、現地の図書館・研究機関等を利用し、トーマス・マンを中心とする近現代ドイツ文学に関する資料を収集・整理した。	
得られた研究成果について	上記の研究活動の結果、得られた研究成果についてご記入ください。	
	本研究期間を通じて、ドイツ語圏文学、特にトーマス・マンの作品を、ジェンダー・セクシュアリティ研究およびクィア・リーディングの観点から分析し、理論的考察を進めることができた。 また、ベルリン・フンボルト大学での研究交流およびクィア・リーディングのコロキウムへの参加などを通じて、研究課題を国際的な研究動向のなかに位置づけ直すことができた。	
今後の計画について	得られた成果を踏まえ、今後どのように研究を発展させる計画か、ご記入ください。	
	今後は、研究促進期間中に収集・整理した資料と得られた知見をもとに、トーマス・マンを中心とするドイツ語圏文学の分析をさらに進め、論文として公表していく予定である。 また、海外研究者との継続的な意見交換を行いながら、ドイツ文学研究とジェンダー・セクシュアリティ研究／クィア・リーディングを架橋する研究として発展させたい。	